

きゅうり施肥基準(10a当たり)

肥料名	区分		施肥量 (kg/10a) 〔上限〕		成分量			備考
	元肥	追肥	N	うち化成由来	P	K		
完熟堆肥	2～6t							有機センター堆肥ほか
石灰窒素として①②のいずれかを選択								石灰窒素は粉、粒のどちらでも選択できる
①石灰窒素(粉)	20		4.2	4.2				
②石灰窒素(粒)	20		4	4				
なたね油粕	200		12	0	4	2		有機100%
米ぬか	60		1.4	0	3.5	1.2		有機100% 必要に応じて散布
元肥として、上記に加えて①②③次のいずれかを選択								りん酸過剰の場合は発酵けいふん以外を選択にする。
①アスパラと野菜の肥料	30		4.2	4.2	1.3	0.9		
②発酵けいふん	150		4.5	0	10.5	6	有機100%	
③バイオノ有機S	100		7.2	0	4.2	2.5	有機100%	
液状の追肥として次の①②のいずれかを選択								〔追肥〕 液肥と固形肥料を組み合わせながら、7～10日おきに、Nで1～1.5kgを施用。
①液体ジャンプ		60	3.6	0	0.6	1.8	有機100%	
②エキタン有機		60	3.6	0	0	0	有機100%	
固形の追肥として①②のいずれかを選択								有機1% 有機100%
①NKみゆき2号		100	18.3	17.3	1.3	3		
②バイオノ有機S		200	14.4	0	8.4	5		
炭酸苦土石灰またはサンライム(粒)を選択								土壌診断により施用 苦土欠の場合は炭酸苦土石灰 微量要素も含む
①炭酸苦土石灰	300							
②サンライム(粒)	300		0.9	0	0.6	0.6		
苦土重焼燐1号	40				14			土壌診断により施用
けい酸加里特号	60					12		土壌診断により施用
合計			39.6 ～ 47.6	4.0～ 25.7	24.1～ 41.6	19.1～ 28.6		

注)有機質肥料の肥効率は考慮せずに計算。

留意事項

- (1) 化学肥料の量を10a当たり28kg以下で設定。
- (2) 施用量は上限であるので、圃場・作物の状態により減らしてよい。化学肥料の石灰窒素、アスパラと野菜の肥料、NKみゆき2号は基準施用量を超えないように特に注意する。